



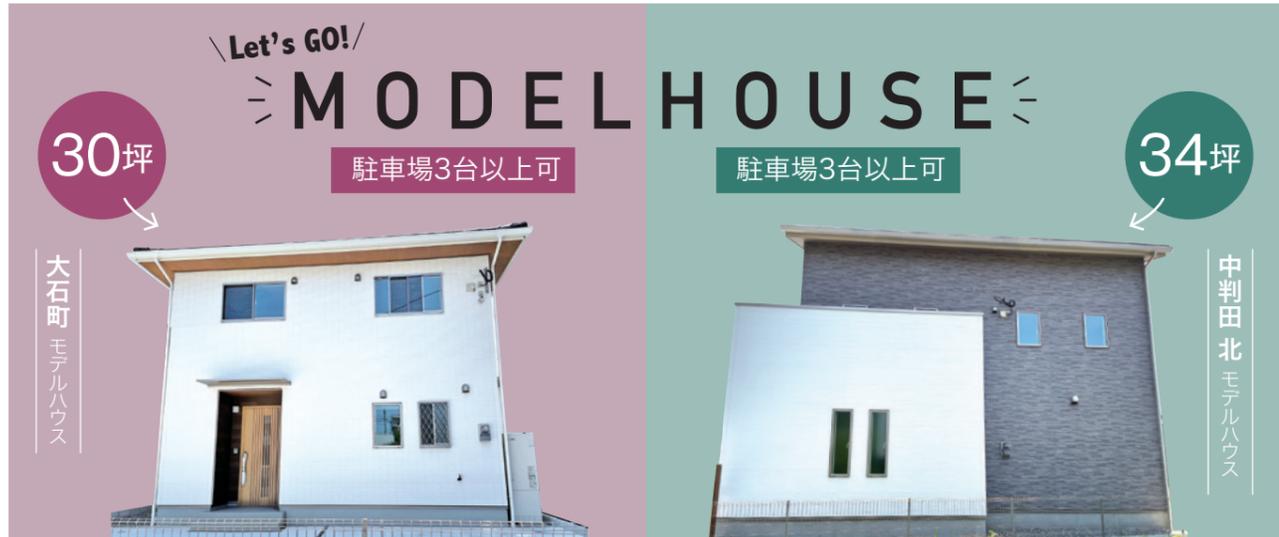
住まいづくりの夢がグッと近づく旬の情報を発信!

NKガーデン大石町

NKガーデン中判田 北

nakanosu home『悠』仕様  
モデルハウス販売中!

**【完全予約制】**  
ご見学を希望の際は  
事前にお問合せください  
随時、ご案内させていただきます



大石町モデルハウス: 敷地面積 231.93㎡(70.16坪) 1F床面積 51.46㎡(15.57坪) 建物面積 99.48㎡(30.09坪) 2F床面積 48.02㎡(14.52坪)

中判田北モデルハウス: 敷地面積 193.82㎡(58.63坪) 1F床面積 61.69㎡(18.66坪) 建物面積 113.03㎡(34.19坪) 2F床面積 51.34㎡(15.53坪)

**間取り例** ご予算、ご家族構成、敷地条件などに合わせて、ご提案を行っております。

46坪プラン				46坪 PLAN 2F建て
	1F平面図 76.19㎡(23.05坪)	2F平面図 72.87㎡(22.04坪)		
37坪プラン				37坪 PLAN 2F建て
	1F平面図 67.08㎡(20.29坪)	2F平面図 53.83㎡(16.28坪)		
31坪プラン				31坪 PLAN 平屋
	1F平面図 102.81㎡(31.10坪)			



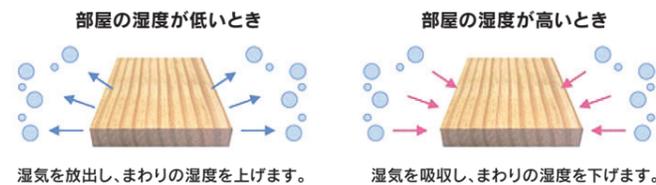
日常にもっと木を  
木は自然の加湿器&除湿器



**木材が快適な湿度を保つ?**

人がもっとも快適に過ごせる湿度は、50~60%と言われています。また、これはカビやダニ、ウイルスが発生しにくい湿度でもあります。木には、周囲の水分を吸放出して自らの水分を保とうとする性質があります。内装材としてある程度乾燥した木を使えば、湿度が高い時は空気中の水分を吸収し、空気が乾燥している時には水分を放出することで、常にお部屋を60%前後の湿度に調節してくれます。

これを調湿作用と呼び、木が建材として加工された後もしっかりと生きている証拠でもあります。



木の調湿作用の効果を調べるために、より木本来の性質が強い無垢材のフローリングと、一般的なシート貼床材を実験で比べてみました。10畳洋室のフローリングを想定し、密閉ガラス容器でモデル実験をおこないました。あらかじめ同じ温湿度環境で調湿した各床材を、それぞれガラス容器に入れ、容器内の湿度の推移を測定します。

**実験①:湿度90%が60%に下がるまでの時間**

- 無垢フローリング(自然塗料塗装): 36時間
- シート貼床材: 96時間経っても60%を切らなかった

**実験②:湿度40%が50%に上がるまでの時間**

- 無垢フローリング(自然塗料塗装): 23時間
- シート貼床材: 約96時間

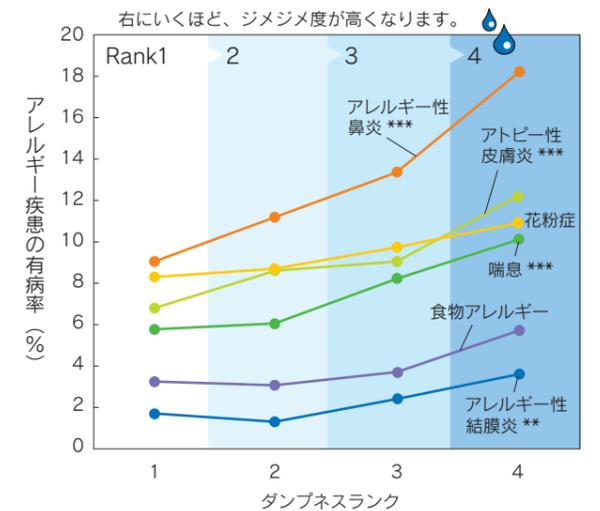
無垢フローリングの場合では、一般的なシート貼床材の場合とくらべて、およそ4倍早く快適湿度域に到達しました。木本来の性質を活かした木材は、まさに自然の加湿器・除湿器と言えます。



※上記資料は株式会社ナカノス様より情報提供をいただいております。上記内容につきましては、製品の品質及び身体への効果を保証するものではありません。

**ジメジメした家は、アレルギーにかかりやすい!?**

お家の湿度が高いと、カビやダニ、ウイルスなどが繁殖しやすくなります。カビやダニなどが増えると、健康に影響を及ぼしてしまう可能性があります。下のグラフは、家のジメジメ度をランク付けした「ダンプネス」とアレルギー疾患率の関係をしらべたものです。



出典/長谷川兼一ら、住宅のダンプネスのアンケートによる評価法の提案と子供のアレルギー疾患に及ぼす影響に関する全国調査、日本建築学会環境系論文集,81(2016)

(※全国地域の世帯6,618戸を対象に、WEBブラウザを用いたアンケート調査を実施。結露・カビ・カビ臭の発生状況により、ダンプネスの程度を評価しました。)

もっともジメジメ度の高いランク4の家では、アレルギー性鼻炎やアトピー性皮膚炎、喘息などにかかりやすくなるという結果を示しています。お部屋を快適な湿度に保つことは、健康に過ごすことに繋がります。

**木は江戸時代からの湿気とり**

建物の床下の湿気とりには、木炭を敷くという方法があります。湿気による木材の腐朽や、カビ・シロアリなどの被害を防ぐためですが、実はこの方法は、古く江戸時代から用いられていたと言われます。木を使うことで起こる問題を、木を使って乗り越える。高温多湿な気候の中で木造の建物に住もう、日本だからこそこの知恵ですね。木材のもつ調湿作用は、住む人の体に良い効果をもたらしてくれます。より多くの方に、木の恩恵をたっぷり受けて、健康で快適な生活を送ってほしいと願っています。